

特集

充たす 職種 医療

皆 さんができるだけ長く住み慣れた地域で暮らし続けるためには、医療・介護をはじめ、地域みんなが生活を支え合う仕組みが必要です。そのためには、医師や看護師、介護職員などの専門職種の皆さんの存在が欠かせません。しかし、現在でも専門職種の人材の充実に困ることは決して容易なことではありません。この先10年後やその先となると、なおさら困難になっていると予測されます。

府中市では、地域の皆さんが、安心して医療を受けることができるよう、関係機関の協力を得ながら、医師や看護師の育成と確保、そして、市内で開業する医療機関を充実する取り組みを進めています。

少しずつではありますが、その成果は着実に上がっています。

これから医師や看護師と目指す皆さん、奨学金貸与制度などを活用し、私たちと一緒に地域の皆さんの生活を支えていきませんか。

問い合わせ先 健康政策室 (☎43-7210)

新しい「まちのホームドクター」が加わりました

やすかわ泌尿器科クリニック (泌尿器科)



やすかわ泌尿器科クリニック
安川明廣さん

市外から来て府中で開業し、もうすぐ1年になります。周りの人からも、とても親切にしていたいだいています。

泌尿器科に來られる患者さんの多くは、おしっこが出にくい、頻尿、尿もれ、排尿痛、血尿、膿尿(尿混濁)などの症状で来院されます。原因はさまざまですが、これらの診断にはいわゆる泌尿器科の三種の神器が必要になります。三種の神器とは、①超音波診断装置(エコー) ②内視鏡診断装置(膀胱鏡) ③X線診断装置(CTやMRI)です。

診療所がこれらの診断装置を全て新規で導入しようとするれば、多額の資金が必要となります。幸いにも当

院の開業に当たっては、府中市より医療体制確保等支援事業補助金の交付を受けることができました。これにより最先端の超音波診断装置(エコー)や内視鏡診断装置(痛みの少ない軟性膀胱鏡)などを導入することができました。

また、X線診断装置については、府中市民病院にCT・MRIが導入されていますので、府中市民病院と連携を取り、必要な場合は撮影をお願いしています。

泌尿器科疾患のある高齢の患者さんは、その他の基礎疾患や合併症を持っている人が多くおられます。こういった基礎疾患や合併症についても、考慮しながら診察に当たっています。



これまで培ってきた知識と経験が、府中市の皆さまの健康のお役に立つことができれば幸いです。

平成5年から小島病院に勤務し、安来市民病院を経て、平成29年4月に開業。日本泌尿器科学会専門医・指導医。



月・火・水・金曜日
9:00~12:00、 15:00~17:30
木・土曜日
9:00~12:00

※木・土曜日午後、日曜日、祝日は休診です。

連絡先
(☎54-2355)

なかはまハートクリニック (循環器内科・内科)



なかはまハートクリニック
なかはま 中濱 一さん

1月22日(月)に高木町で循環器内科と内科のクリニックを開業しました。昨年12月まで勤務しておりました福山市民病院では、府中市から一日がかりで受診される患者さんがたくさんおられました。そんな中、縁あって府中市に開業することができましたので、福山市内まで通院する負担を少しでも軽減していただけないかと考えています。

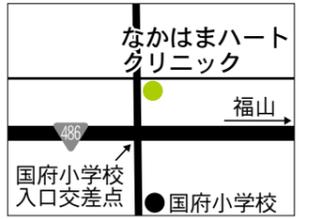
高齢化が進む中、循環器疾患、特にその中でも心不全が増加すると推測されています。当院は心臓と血管の病気が専門ですが、その発症原因となるメタボリックシンドロームや高血圧、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病の治療にも力を入れてまいります。不安があればすぐに検査、診断をい

たします。手術や入院などの必要があれば、専門病院へ紹介いたします。可能な限り、府中市内で診療が完結できるよう、地域の医療機関の先生方と、専門性をいかした連携を行い、地域医療の質を高めていきたいと考えております。

循環器疾患による症状は「胸が痛い」「動悸がする」「息が切れる」といった胸部症状から「ふらつく」「意識を失う(失神)」「歩くと足が痛む」「足の傷が治らない」など多様にあります。気になる症状や不安がありましたら、お気軽にご相談ください。

開業に当たりましては、府中市の医療体制確保等支援事業補助金を活用させていただきました。検査機器を充実させることができ、

本当に感謝しております。当院は地元のスタッフが多く、スタッフ一丸となり、身近なかかりつけ医として、地域の皆さまに愛され、信頼されるクリニックを目指してまいります。



月・火・水・金曜日
9:00~12:30、 15:00~18:00
土曜日
9:00~12:30

※土曜日午後、木・日曜日、祝日は休診です。

連絡先
(☎46-0810)